



T.Rowe Price



[参考和訳]

機関投資家対象 – 再配布不可

ブルーエコノミーの新潮流

ティー・ロウ・プライスの債券部門 ESG 責任者であるトンガイ・クノルプエは、ブルーエコノミーが現在直面している資金不足がもたらす地球規模のリスクや社会的リスクに取り組み、ブルーボンド市場を拡大すべく、世界銀行グループの一員である国際金融公社とどのように協働しているのか説明します。

Environmental Finance 誌 (EF) : ティー・ロウ・プライスと国際金融公社 (IFC) のパートナーシップの背景にある理念は何ですか ?

トンガイ・クノルプエ (TK) : このパートナーシップの背景にある理念は、SDGsの目標6（安全な水と衛生）と目標14（海洋・海洋資源の保全）のための資金が慢性的に不足しているという認識です。債券市場は変化と変容のための強力な媒介役を果たすと私たちは強く認識しています。これまでの債券市場のサイクルを見ても、債券市場は資本流入を促し、何らかの外因的な危機が生じる毎にその資本を投入できることにおいて、極めて有効な市場です。

ブルーエコノミーを強調したいと考えた理由は、海洋や河川の対応が脱炭素社会への移行に不可欠だと認識しているからです。海洋は自然界における炭素吸収源として非常に重要で、全排出量の3分の1以上を吸収しています。酸素の50%は、海洋と河川で主に光合成植物プランクトンにより生成されています。

社会面の恩恵もあります。例えば、水の採取にかかわる負担は、主に新興国市場の成人女性と女兒が負っています。ユニセフの統計値では、その負担は1日2億時間に上ると示唆しています。衛生管理も人の健康面で考慮すべき非常に現実的で重要な事項であり、コンサルティング会社のマッキンゼーによると、衛生管理により毎年160万人の死亡を回避できるといいます。

EF : 運用アプローチと哲学について説明していただけますか ?

TK : まず、潜在的な発行体に対して多くの非常に厳格なデューデリジェンスを行います。発行体が強固な債券発行の枠組みを有していても、戦略と発行体レベルでの評価が合致していなければ、第1ステージを通過しません。第2に、債券の銘柄ごとにファンダメンタルズ、ボトムアップ、責任投資に基づく分析を行い、プロジェクトやストラクチャーに関する非常に詳細なデューデリジェンス・プロセスを実施します。社会およびガバナンスの側面では、潜在的な落とし穴がないことを確認するように努め

ます。最後の要素は、変化の根拠およびインパクトの5次元を確認することで、私たちの非常に強固な意図で自己責任を負うことを確実にします。

私たちはブルーエコノミーに投資したいと考えているものの、意図された、あるいは意図しない潜在的な影響について慎重に判断する必要があります。ブルーボンドは非常に重要かつ新たな資産クラスであり、上辺だけの「ブルーウォッシング」で台無しになることは許容できません。

EF：投資家がブルーエコノミーへの投資を検討すべき理由は何ですか？

TK：ブルーエコノミーが果たす広範な役割を正しく評価する必要があります。この問題に取り組まないことによる多くのマイナス面が存在しますが、一方でプラスの側面もあります。世界経済フォーラムは、海洋経済がもたらす世界のGDPへの寄与度は既に顕著かつ重要であり、2030年までにG7諸国の実質的な経済規模に達すると明確に認識しています。

ブルーエコノミープロジェクトは、いくつかの理由から経済的に有効な投資である必要があります。第1に、プラスの経済的リターンを生み出せることは、債券市場にとって非常に重要なカリストとなります。グリーンボンド市場に起こったことを見ると、プロジェクトが経済的に実行可能で持続的なケースでは、こうした発行体は債券発行を重ねています。これは新たな収益機会をもたらす市場を発掘するプロジェクトではありません。既存の新興国社債戦略と同水準のリターン特性を追求する戦略です。

アセットオーナーである機関投資家のコミュニティがこの市場を下支えする必要があると考えます。私たちはティー・ロウ・プライスがプロジェクトを成功させることに止まらず、資産運用業界全体が関わることを望んでいます。それは、グリーンボンド市場で見られたように、発行体がブルーボンド市場にも参入するようになるからです。

ティー・ロウ・プライスと国際金融公社は資本関係のある関連企業ではありません。

当資料はEnvironmental Finance誌によるインタビュー記事の翻訳版です。英語の原文と翻訳内容に齟齬がある場合はティー・ロウ・プライスのウェブサイトに掲載された原文が優先されます。

重要情報

当資料は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクおよびその関係会社が情報提供等の目的で作成したものであり、特定の運用商品を勧誘するものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料はティー・ロウ・プライスの書面による同意のない限り他に転載することはできません。

資料内に記載されている個別銘柄につき、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンド等における保有・非保有および将来の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。投資一任契約は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。

投資一任契約は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。

当社の運用戦略では時価資産残高に対し、一定の金額までを区切りとして最高1.265%（消費税10%込み）の逡減的報酬料率を適用いたします。また、運用報酬の他に、組入有価証券の売買委託手数料等の費用も発生しますが、運用内容等によって変動しますので、事前に上限額または合計額を表示できません。詳しくは契約締結前交付書面をご覧ください。

「T. Rowe Price」、「INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊のデザインは、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標または登録商標です。

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第3043号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

202409-3829153